

第3 学校教育計画、学校評価 及び 外部評価委員会 の概要

1. 令和3年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」、「学校評価」事業報告

昇陽中学校・高等学校
校長 竹下 健治

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
 - (1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」
 - ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。
※学校教育自己診断で「授業が分かりやすく学習習慣がしっかりと身につく授業が行われているか」などを令和3年度は昨年度比5ポイント上げる。
 - イ 「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。
 - ウ ICT 教育では、「G Suite For Education」や「Classi」などを使用し、情報活用能力や ICT リテラシーを育成する。
 - エ IT フロンティアコースは4分野（プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、e スポーツ）を柱として育成する。
 - オ 各コースの目標を設定し、積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。
- 2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。
 - (1) 新コースを立上げ、時代に即した人材育成に努める。全てのコースで生徒の基礎学力を伸ばし、応用的な学力向上のための取組みを積極的に進める。
 - (2) 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」の精神を実現し、人材育成の重点を、「教養」「英語（国際）」「ICT」とする。
「教養」では、国語力、論理力、スポーツ、芸術、倫理観などの育成を図る。
 - (3) ICT 教育環境整備など、活力ある学校生活を送られる施設整備を進める。

- 3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
- (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
- ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
 ※学校教育自己診断で「日頃から日常生活のマナーや社会人のルールを守るように取り組んでいる。」
 などを令和3年度は昨年度比5ポイント上げる。
- (2) 人権意識の醸成
- ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別事象、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）
- 4 学び連携できる教員集団
- (1) 授業力向上の取組み
- ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
- イ 若手教員研修の定期的実施
- (2) 各種研修の実施
- ア ICT教育や新学習指導要領などの研修や人権関係や服務などの研修を実施する。
- (3) その他
- ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営の意識を持つ。小会議やミーティングやケース会議の実施。
- イ コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
- ウ ICT環境を整え、ホームページを充実させる。（記録、更新の促進）

III 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
--	----------	--------------	------	------

<p>2 輝く居場所を作る</p>	<p>(1) 新コースの立上げと人材育成など</p> <p>(2) 「For Others」などの人材育成</p> <p>(3) 施設整備の充実</p>	<p>・進学コースとビジネス・IT フロンティアコースでの取組み</p> <p>・全てのコースの学力育成と特色ある取組み</p> <p>・各コースで「For Others ～奉仕のこころ」の取組みを行う。</p> <p>・ICTを使った遠隔地教育を試みる。</p> <p>・城山キャンパスの施設・整備充実</p>	<p>・進学Ⅲコースの講習等の参加率</p> <p>・各コースの学力目標設定</p> <p>・各コース目標達成内容</p> <p>・「For Others」各コース年1回以上の取組み</p> <p>・海外修学旅行や海外研修の取組み模索</p> <p>・キャリアパスポートの作成</p> <p>・「G Suite For Education」の導入</p>	<p>・参加率約 70% ◎</p> <p>・「For Others」活動実施○</p> <p>・海外研修等コロナにより中止</p> <p>・キャリアパスポート作成○</p> <p>・「G…」授業、連絡等で使用◎</p>
<p>3 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成</p>	<p>ア 授業に集中できる学習環境と授業規律</p> <p>イ 人権意識の醸成</p> <p>ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化</p>	<p>・生徒による挨拶運動の実施</p> <p>・<u>正門での「正門一礼」の実施</u></p> <p>・予鈴や入室指導の継続</p> <p>・「5分前集合」を徹底させる</p> <p>・<u>「昇陽手帳」の使用（1・2年生）</u></p> <p>・遅刻指導の実施</p> <p>・通学指導の実施</p> <p>・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修）</p> <p>・強化クラブの充実</p>	<p>・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施</p> <p>・教員による入室指導後ベル始業の徹底</p> <p>・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価5%上げる</p> <p>・「5分前集合」「授業集中状況」</p> <p>・<u>遅刻件数を昨年度比15%減少</u></p> <p>・強化クラブの全国レベル大会出場</p>	<p>・週1回の挨拶運動◎</p> <p>・「正門一礼」毎日実施◎</p> <p>「昇陽手帳」の使用◎</p> <p>・「生徒指導関係」肯定率7.6%（高校）4.2%上昇○</p> <p>遅刻件数△</p> <p>・人権研修2回実施</p> <p>・ソフトテニス部全国選抜大会3位出場、男子中学校バレーボール全中ベスト8、高校バレーボール春高まで後1勝○</p>

4 学び連携できる教員集団	ア 授業力向上の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開週間の設定 ・先進校訪問の継続 ・授業アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・相互授業見学、研究協議の実施 ・教職員「昇陽スタンダード」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究週間実施○ ・「昇陽スタンダード」作成、周知◎ ・観点別評価によるシラバス作成。観点別評価2学期より試行◎
	イ 各種研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・科目のシラバスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価にもとづくシラバスの作成内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手研修会実施できず△ ・将来構想委員会入試問題検討委員会、デジタル委員会開催◎
	ウ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各コース検討研修会を開く ・若手研修会「雑土」と「チューター制」 ・夏季休業中の外部研修受講 ・各種委員会(将来構想委員会、ICT 検討委員会、入試問題検討委員会、<u>デジタル委員会</u>)を構成し、諸課題に対応する ・生徒の情報共有を進める ・ICT 環境の整備 ・学校ウェブサイトの刷新 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進校訪問、外部研修5名以上参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進校訪問コロナで中止△外部研修2名実施○ ・ドローン研修○ ・学校ホームページ刷新◎

2. 令和3年度 外部評価委員会 事業報告

令和3年度 昇陽中学校・高等学校 外部評価委員会

○根拠規定：学校法人淀之水学院 外部評価委員会規程（平成30年9月8日制定）

第1回 外部評価委員会

・令和3年9月25日（土）

出席者：保護者会会長、此花区長、中学校校長、大学教授、教育関係者、学校事務局等

① 委員会協議内容

- ・令和3年度学校教育計画について
- ・本校の現状報告と質疑応答

② 外部評価委員会からの意見や助言など（ ）は学校事務局の返答

- ・校長が理念を持ち、リーダーシップを発揮している。今後の目標をどのように考えているか。
(さらに入学して良かったと思える学校にしたい。そのためにも保護者や関係者との連携が必要となる。)
- ・教職員に対して、「昇陽スタンダード」を出しているが、教員の育成、学校のマネジメント、生徒の学びをどのようにしようと考えているか。
(昇陽の基準となる「昇陽スタンダード」は学校教育計画から策定している。学校教育計画から、どのような資質・能力、経営が必要か考えている。)
- ・生徒と学校が共通の感情をもって、学校のスタンダードを作してほしい。
(自分の学校として学校を愛してもらえるように頑張りたい。また、その意味の「昇陽スタンダード」を作りたい。)
- ・遅刻者や退学者の減少は、生徒たちの頑張りの反映として素晴らしい事だ。

- ・高校低学年の進路情報の提供が少ないのではないか。
(コロナ禍もあり、全体指導が難しくなっている。出来る中で、もっと積極的に生徒と向き合いたい。)

第2回 外部評価委員会

令和4年3月に予定していたが、コロナ感染増加のため、令和3年度「学校教育計画」および「自己評価」、学校教育自己診断アンケートの総括を書面送付した上で、外部評価委員の意見を伺った。

書面を送付した方々： 保護者会会長、此花区長、中学校校長、大学教授、教育関係者

① 委員会書面送付内容

(ア) 令和3年度「学校教育計画」および「自己評価」結果報告

- ・基礎学力について、ベネッセのGTZ評価上昇や英語検定合格者数増加などの結果報告
- ・学力向上の取組み報告
- ・生徒指導として「正門一礼」の実施報告と「遅刻者数」報告
- ・教職員育成について、「昇陽スタンダード」の周知、観点別評価導入報告など
- ・その他、本校課題等の報告

(イ) 学校教育自己診断アンケートの総括報告

- ・高等学校生徒について、各評価数値は大幅に上昇したが数値自体はまだ低い。特に、「学習・授業関係」で大きく上昇した。ICT教育や「昇陽塾」などが評価されたかもしれない。
- ・高等学校生徒について、「生徒指導関係」は大きく上昇した。
- ・高等学校生徒について、「部活動関係」は少し下降した。部活動加入率は上がったが、入部後において適応しているか丁寧な対応が必要と思われる。
- ・中学校生徒について、全体的に各数値とも高く、昨年度とほぼ同じである。「学習・授業関係」や「生徒指導関係」はさらに上昇し、数値も高い。
- ・保護者について、昨年度とほぼ同じで全体として高い、「学校満足度」が上昇した。ただし、中学校保護者で一部下降した。
- ・教職員について、「教育方針」「教育計画」の浸透について、概ね上昇した。しかし、「地域の交流」や「研修関係」は下降した。コロナ禍で交流や研修が減少した事が考えられる。

② 学校教育計画自己評価および学校教育自己診断について委員の意見や助言

- ・学校評価について、高校のほとんどの項目で肯定的な評価が上昇している。講習、朝テスト、「昇陽塾」、ICT教育、「For Others～奉仕のこころ～」、「昇陽手帳」など多様なプログラムやツールの展開、さらには「昇陽スタンダード」をベースにした教員の努力・質向上が結実したものと評価できる。
- ・教職員の「研修関係」がマイナスとなっているのは、教職員の研修意欲の高まっている裏返しとも受け取れる。
- ・高等学校生徒の評価は全体的に上昇しているが、数値自体はまだ低い。80%は超えてほしい。
- ・ベネッセの指標や英語検定合格者数の上昇など確かな手ごたえを感じます。部活動も頑張っているが、所属できていない生徒への応援もよろしく願います。
- ・AO入試や推薦入試の小論文対策、作文力の向上も必要と思われます。
- ・校長をはじめ学校が一貫してブレていないので安心していますが、さらに授業参観を増やし学校行事の参加を促進したならば保護者は積極的に協力します。
- ・「昇陽塾」活性化委員会への先生方の意気込みが生徒に伝わっているようで大いに期待できます。